



やまなし

第76号 2011年3月10日(年3回発行)

学術局企画研修部研修会 「口腔内における喀痰等の吸引」

学術局企画研修部
甲府城南病院 森田拓弥

平素より、当県士会学術局企画研修部研修会活動にご支援賜わり、感謝申し上げます。

日本作業療法士協会より「喀痰吸引」に対する水準において、安全で質の高い医療の提供、各医療関係職種の特長性をより発揮できる効率的なチーム医療体制の整備が重要との認識の下に、リハビリテーション専門家としての役割が示唆されています。その中で、作業療法士が関わる吸引の範囲は食事訓練をする際の一時的吸引のみとされています。

それを受け全国にさきがけ、昨年、平成22年9月16日(木)山梨県作業療法士会学術局企画研修部研修会(以下、本研修会)にて、講師に山梨県立大学教授 遠藤みどり先生をお招きし、「口腔内における喀痰等の吸引～他職種と連携し安全な口腔内の一時的吸引を実施するために～」をテーマに講義・実技を交えて、研修会を開催いたしました。吸引箇所も「口腔内」・「鼻腔内」・「気管」とあり習得すべき到達目標が異なるために、本研修会では、口腔内の吸引のみに設定し実施しました。また、施設設備機器の数や手技の修得には時間を要することが考えられるため、定員80名で開催いたしました。今年度から「喀痰等の吸引」が行えるということから、220名を超える参加希望があり、参加者の意識・関心の高さが多分に現れていたと感じられました。

研修会の主な内容としては、はじめに日本作業療法士協会が定める「喀痰等の吸引」と「作業療法の範囲」についての簡単な説明を受け、それを踏まえた上で本研修会の位置づけと目的につい

もくじ

- 1p 学術局企画研修部研修会
- 3p 地域リハビリテーション委員会
- 6p 精神科だより
- 7p 身障だより
- 9p 理事会だより
- 11p 広告
- 14p 各種申請書変更のお知らせ
- ・編集後記

てオリエンテーションを行いました。その後、吸引に関する講義（口腔・気道の解剖、吸引機器の操作方法、感染対策、清掃操作）など、一連の流れに沿い幅広く説明がありました。その後、吸引中の注意点や手順などの実技デモンストレーションがあり、続いて各グループごとにアシスタントの先生の指導の下、一人一人実技を実施いたしました。本研修会終了後のアンケート結果から、研修会参加にあたり、「吸引を必要とする対象者に関わる必然性があること」、「その必要性が高いこと」などの動機が大半であり、また、実施後の感想として、「説明や実技があり大変勉強になったが、その反面、実際に行うと難しかった」などの意見も聞かれました。その他の意見や要望として、「実技の時間が短かった」、「第2回目の吸引研修会をしてほしい」、「呼吸に関する研修会の要望」などがありました。これらのことから、喀痰等の吸引は私たちの臨床場面で頻繁に遭遇する事例であり、本研修会開催の意義と必要性を十分に感じられる結果と感じています。研修会終了後、学術局企画研修部の今後の方針として、参加人数の問題や吸引における実技時間などの問題に対して、幅広く多くの方が参加できるように、来年度、第2回目の吸引研修会を開催する予定にしています。詳細などは今後、県士会HP、各施設あての研修会案内をご確認いただきますよう、宜しくお願い致します。



みんなで作る！！地域リハビリテーション委員会

地域リハビリテーション委員会
委員長 海野寿美

年度末のこの時期、各施設お忙しことと思います。県士会の活動には参加されているでしょうか？
今回は地域リハビリテーション委員会の紹介をさせていただきます。

当委員会は特設委員会の1つであり、長年に渡り、施設や経験年数の枠を超えて研鑽・研究を行っています。

早速ですが、成り立ちと今までの事業をご紹介します。

1983年から老人保健法に基づいて各市町村で行われる「機能訓練事業」には多くの理学療法士(以下PT)、作業療法士(以下OT)が参加していました。1987年にはその実態調査や研究に県士会として取り組みました。研究を通じて①通所型の機能訓練事業には参加できないほどの重度の障害を持つ高齢者が多いこと、②自立支援と介護負担軽減のため各種の福祉用具や住宅改修のニーズが高いこと、③退院前訪問指導や訪問リハビリテーションなど医療と地域の保健福祉の連携が重要であることが分かりました。そんな中、1990年に当委員会は設置され、山梨県理学療法士会と共に「地域リハビリテーション研修会」を開催しました。また1991年には山梨県地域福祉基金を利用し更に活動を展開し、県内の訪問リハビリテーションの実態調査や研修会などを行いました。このような実績から県を通じて「長寿社会福祉基金」の助成を受けられることとなり、1993年～2004年までの約11年に渡り、高齢社会を支える公益事業として「アシスト・バン事業」が展開されました。「アシスト・バン事業」では様々な福祉用具を用意し、病院入院患者の外泊の際、市町村からの依頼があった際に福祉用具の貸し出しや適応の評価などを行ったり、関連職種と研修会を開催したりしました。今では当たり前展開されている介護保険事業の福祉用具貸与や訪問リハビリテーションの前身ともいえます。

このような活動を礎に、OTとして我々は何ができるのか仲間同士で話し合い、実践しながら活動を行っています。

過去数年の活動（研修会など）の一部を以下に紹介します。

- 住宅改修：OT による手すり設置のノウハウを学ぶ（介護保険前）研修会
- ユニバーサルデザインに関するシンポジウム
- 介護保険制度：ケアマネジャーを招き双方に理解を深める研修会を開催
- 外出支援：在宅生活で外出の機会の少ない障害者との一泊旅行
- スマイルサポート：認知症の評価バッテリーの検討、認知症の家族会との交流
- 介護予防：韮崎市の介護予防事業に参加（評価の視点を提案）
- ICF を理解・活用する研修会：活用方法の啓蒙、他職種との意見交換
- 自立支援法：制度の理解を深め、活用を促す

委員会ではその時期に応じ、先行的な学習・調査から自主的・自発的に公益活動が行えるよう取り組んでいます。

今年は6つのグループが活動しています。

- 介助犬：介助犬の理解を深める研修会を開催（中間ユーザー：OT）
- 高次脳機能障害：評価バッテリーのおさらいと家族会との交流
- 特別支援教育：内部学習と他領域との情報交換
- 福祉用具：地域の車いすユーザーへの関わり、簡易スプリントの学習
- 就労支援：山梨障害者職業センターのアンケートを参考に情報収集、見学
- 閉じこもり研究：事例検討、行政の支援方法の情報収集

今年の研修会の様子（介助犬）



（ユーザーの方も一緒に参加）



グループの活動内容は県士会員から抽出されています。保健・医療・福祉の領域でリハビリテーションの果たす役割が重要になる中、保健制度はめまぐるしく変わり、高齢化も急速に進んでいます。時代の変化と課題を正しく認識し、解決できるOTが必要とされています。

山梨県作業療法士会の会員も400名を超え、経験年数の浅いスタッフも増えてきていますが、先輩OTと一緒に考えましょう。そして柔軟な発想を持ちながら、所属施設ではなかなか行えないことを語り、確認し、事業展開できるよう取り組んでいきたいと思えます。

興味のある方、面白そうだなと感じた方は、県士会HP（トピックス：連絡先）からグループリーダーに遠慮なくご連絡ください。

みんなで作業療法の可能性を広げていきましょう。

< 学会運営部 第5回山梨県作業療法学会 >	
主催	山梨県作業療法士会
会期	平成23年4月17日(日)9:00～21:00
テーマ	挑戦～活躍の場を広げよう～
会場	山梨県立大学 池田キャンパス 〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1 TEL:055-253-7780
対象	作業療法士および関係各種、学生、その他
参加費	山梨県作業療法士会員 2,000円 / 非会員(新卒者を含む) 3,000円 / 学生 1,500円 ※参加費に学会誌・昼食弁当代を含みます。
懇親会	会場 常磐ホテル 懇親会費 5,000円
申込方法	① 下記より参加申込書を取得し、必要事項をご記入の上FAXにてお送りください。 ② その後、参加費を代表者が下記の金融機関口座へ振込んでください。 ③ 口座振込確認にて参加受理とさせていただきます。 ④ 当日キャンセルの返金は致しません。 ⑤ 原則事前申し込みとなります(新卒者・転入者は当日受付とします)。
申込締切	平成23年2月28日(月) 必着
振込先	山梨中央銀行 石和(イサワ)支店 普通預金 口座番号:877065 店番:305 山梨県作業療法士会財務部
振込期限	平成23年2月28日(月)
問合せ先	第5回山梨県作業療法学会 事務局 土居 正和 石和温泉病院 作業療法室内 〒406-0023 山梨県笛吹市石和町八田330-5 TEL:055-263-0111 FAX:055-263-0262

精神科だより

患者様から学ぶこと

山角病院
廣瀬 沙矢香

作業療法士として山角病院で働くようになり、2年が経とうとしています。“まだ初めてだからね”という言葉は、もう通用しません。

今回、精神科だよりを書かせてもらうことになり、これまでを振り返りました。“作業療法士になってよかったなって思うことって何だろう？”と考えた時、真っ先に頭に浮かんだことを、少し紹介させていただきます。

ちょうど1年程前、新しく開棟した病棟の担当作業療法士となりました。この病棟にどのような作業療法が必要なのか、看護職員が求めるものは何か、患者様のニーズは何か・・・病棟レクを立ち上げることは、経験1年の私にとっては、とても大きな仕事でした。何度もスタッフ間で話し合いを重ね、ようやく開始した病棟レク。何よりも、患者様の意見を取り入れることを大事にしてきました。徐々に患者様にも変化が現れ、レクを進めている私のほうが、ドキッとすることもあります。

しかし、スムーズに行かないことも多く、悩む日々もありました。これまで長年やってきた病棟活動の形に変化をもたらすということは、簡単なことではありません。衝突することもありました。“いつになったら分かってもらえるんだろう。もう嫌だな・・・。”と感じたことも正直ありました。

そんな時でも患者様は、「今日レクだよね!」、「こうした方がいいと思う。」と、生き生きとした表情で声を掛けてくれます。そんな姿を見るたび、“あっ、患者さんには通じてるんだ。みんな変わってきてる。やってきてよかった。”と痛感します。患者様の一生懸命考えている姿、それを一生懸命伝えようとするところ、回数を重ねることに見られる変化が、日々、私にも刺激を与えてくれます。患者様の一言に、驚かされる毎日。私の方が、学んでいることがたくさんあります。

病棟レク開始から1年。大変なことが多かったからこそ、私自身、改めて作業療法について、レクリエーションについて、考える機会となりました。なにより、患者様の病棟レクに対する姿勢が、“私も頑張らなきゃ!!”という思いにさせてくれます。

身障だより

石和共立病院

内科・リハビリテーション混合病棟 リーダー 三枝 直

回復期リハビリテーション病棟 リーダー 丸山 祥

入院リハビリテーション室 主任 中村 吉秀

在宅リハビリテーション室 室長 佐田 剛

内科・リハビリテーション混合病棟

内科・リハ混合病棟である当病棟は、全ての入院窓口を担っている病棟です。対象となる患者様は、急性期内科治療を必要とする患者様・維持透析を必要とするリハの紹介入院の患者様が主になります。患者層が高齢であるため、地域での生活へ治療後復帰できるよう、リハ医の協力を得、治療と並行して、早期より生活を見据えたリハを進めています。

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟では、理学療法士、言語聴覚士とチーム体制をとり、3人の個性的なリハ医、経験豊かな看護師やケアワーカー、頼れるソーシャルワーカーとともにチームアプローチを展開しています。個別アプローチに加え、朝の集団体操、ベランダ菜園、お茶会、カラオケなど様々な作業活動を活用しながら日々試行錯誤しています。退院後の生き生きとした生活へとつなげるために、睦美会などの患者会、訪問リハビリ、通所リハビリなどとのより一層の協働が課題となっています。

朝の体操の様子



朝の体操の様子



個別リハ(調理訓練)



集団リハ(茶話会)



集団リハ(折り紙)



患者さん作品

石和共立入院リハビリテーション室

当院入院リハビリテーション室では、保険証を持っていない方、路上生活者の方、時には名無し
の権平(氏名・住所不定)の方なども入院早期から担当することも少なくありません。そんな中、
心身機能へのアプローチはもちろん、社会復帰、生活基盤を再構築するために、チーム医療を原点
に作業療法を提供しています。色々な人生を送ってこられた患者さんからは、『リハビリテーション
の神髄』をいつも考えさせられます。

石和共立在宅リハビリテーション室

在宅リハ室・通所事業所(通所リハ・通所介護)は、当石和共立病院の病棟再編と、在宅リハビ
リテーション展開の積極的な方針の基、3年前に誕生しました。

私たちセラピストは、①小児リハビリ②成人外来通院リハビリ③訪問リハビリ④通所リハ・通所介
護にかかわり、入院中の方々の退院後の生活、地域に暮らす方々の生活を支えるために奮闘してい
ます。

入院リハ室との連携・統合が課題となっています。

理事会便り

平成22年度10月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年10月25日(月)

会場：山梨川` 庁-ヨウ病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野、関谷；12名

1.社会局(山田・宇野)

<事業部>

障害者文化展・いきいきねんりんピックについて
参加者：170名。

2.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

1)第2回企画研修会

テーマ：「子供たちへの発達支援

～自我発達を中心に～」

講師：平松 洋子(甲府共立病院)

日時：平成22年9月29日(水)

場所：県立青少年センター

参加者：86名

2)吸引における喀痰等の吸引研修について

第2回目を平成23年4月21日(木)に開催予定。

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

講師：広田 真由美(石和温泉病院)

日時：平成22年10月4日(月)

参加者：54名

<学会運営部>

学会テーマは、「挑戦～活躍の場を広げよう～」に決定。

平成22年度11月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成22年11月29日(月)

会場：山梨川` 庁-ヨウ病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、佐藤、長坂、山田、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；13名

1.学術局(松田・青木・工藤)

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

日時：平成23年3月20日(日)

会場：山梨川` 庁-ヨウ病院

2)現職者選択研修

精神障害分野

日時：平成22年11月14日(日)

会場：石和ケアハウス

参加者：25名

<災害対策準備委員会>

来年度に行う災害対策研修会について、講師を三越 裕之氏(新潟県作業療法士会)に委託する予定。

平成23年度1月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年1月5日(木)

会場：山梨川` 庁-ヨウ病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、佐藤、中村、長坂、山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野、関谷；14名

1.事務局(三瀬)

1)平成22年12月15日(水)に、日本作業療法士協会主催全国研修会の第1回運営会議を開催した。

2.保険局(長坂)

1)診療報酬について、2月中にホームページに掲載していく。

3.社会局(山田・宇野)

<厚生部>

1)山梨県作業療法士会の新年会

日時：平成23年1月19日(水)

会場：プライダルヴィレッジ ミラベル

時間：18:30分受付 19:00開始

4.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

1)テーマ「障害受容～人との出会い～」

日時：平成22年11月30日(火)

講師：鈴木 徹氏（走り高跳び、
義足のプロアスリート）

参加者：103名

2) テーマ「失行症に対する作業療法の概念」

日時：平成22年12月5日（日）

講師：三井 忍（フジ虎ノ門外科
リハビリテーション病院）

参加者：108名

<生涯教育部>

1) 現職者選択研修 身体障害領域

日時：平成22年12月12日（日）

4プログラム実施。

参加者：54名

< 日本離床研究会教育講座 実践！早期離床ベーシック講座 >	
主催	日本離床研究会
内容	離床を実現するための評価ポイントと使える技術を徹底解説！ 理論と実技を合わせて学ぶことができます。 ① 臥床はどのようにして呼吸に悪いのか ② これなら簡単！寝たままでする動作能力予測 ③ 呼吸理学療法のエビデンスと早期離床 ④ 創痛に配慮した排痰指導のポイント ⑤ 呼吸合併症対策としての体位変換とその効果 ⑥ 正しいHead upの手法と起き上がりの実際 ⑦ わかりやすい！離床の阻害因子別フィジカルアセスメント ⑧ 腰痛持ち必見！腰を痛めない楽々 移乗動作法 ⑨ ここを聴く！S10の聴診法とその実際 ⑩ 効果的な排痰法 呼吸介助手技の適応と限界
講師	曷川 元 氏 他(日本離床研究会講師陣)
開催日	平成23年4月9日(土)10:00～16:10
会場	名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)
受講費	8,400円(税込)
申込方法	ホームページよりオンラインで申込み URL: http://www.rishou.org
問合せ先	(社)日本離床研究会事務局 TEL:03-3350-0526

ノラケノン筋電計シリーズ



朝日に驚き出すチカラ。酒井医療

簡単操作で バイオフィードバック トレーニング

酒井医療株式会社
関東第三営業所
Tel : 048-255-0451
www.sakaimed.co.jp



携帯型筋電図計測装置 マイオトレース400

わたしたちは人生を毎日楽しんでいただけるよう **3Life** をサポートいたします。

<p>Life ① 生命</p> <p>「痛い」「熱い」など、生物としての感覚レベルでの適合</p> <p>お客さまひとりひとりの身体の形・機能に合った製品を心をこめて選び、作り、お選んでいます。</p>	<p>義肢装具</p> 	 <p>車いす</p>	 <p>ゲイトソリューション デザイン</p>
<p>Life ② 生活</p> <p>「食事」「睡眠」「移動」など、人としての日常生活レベルでの適合</p> <p>さまざまな提案をすることにより、生活シーンごとに生じる問題を解決し、より快適な暮らしが出来るようお手伝いをしています。</p>	<p>PPSスイッチ</p> 	<p>コミュニケーション機器</p> 	<p>マイスプーン</p> 
<p>Life ③ 人生</p> <p>「就職」「社会的活動」「レジャー」など、個人としての自己実現レベルでの適合</p> <p>仕事や趣味・スポーツなど色々なことにトライし、自分らしさを求めるお客さまを深い経験と高い技術力でサポートしています。</p>	<p>エアパッドセンサー ピエゾセンサー</p> 		



山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188
TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

医療科学部 作業療法学科

新しいコラボレーションに挑戦!!!



医療科学部

作業療法学科 (40名)
理学療法学科・柔道整復学科





生命環境学部

アニマルサイエンス学科
生命科学科・自然環境学科



こども学部

こども学科

【上野原キャンパス】
山梨県上野原市八ツ沢2525



いのちをまなぶキャンパス
帝京科学大学
0120-248-089
入試専用ダイヤル

介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい……

株 サンカイゴ

EST.1990 SunKaigo

中央店 中央市中橋91-1 電話: 055-274-1152
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 電話: 055-251-2528

やさしさ・おもいやり……

GC (有)グットケア
GoodCare.LTD

甲府市住吉4丁目 6-24
電話 055-236-6006

当社は、在宅福祉を支援する会社です。
お気軽にご相談ください。



事業内容: 居宅介護支援, 通所介護, 訪問介護
福祉用具貸与・販売, 住宅改修

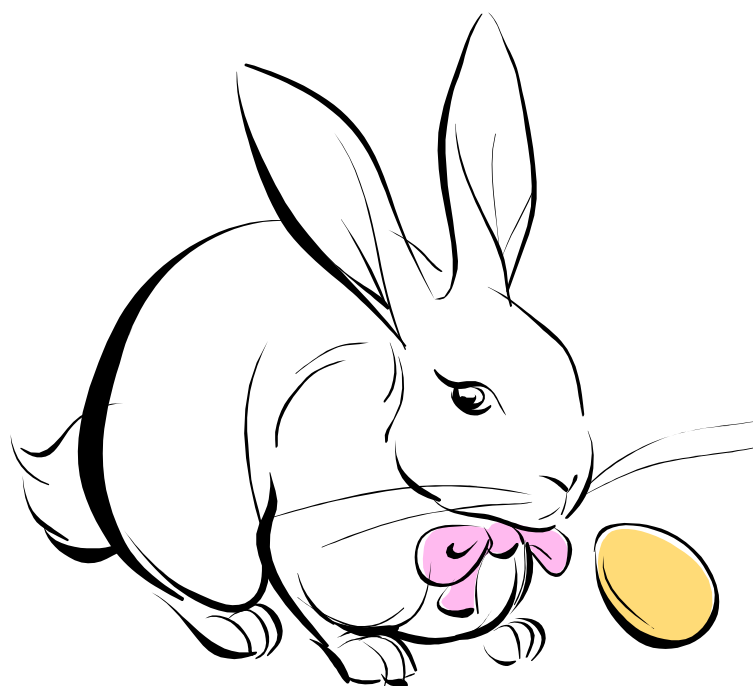


新時代の
医療・福祉・心理の
スペシャリストを目指して

 **健康科学大学**
Health Science University

 **理学療法学科** Department of Physical Therapy
 **作業療法学科** Department of Occupational Therapy
 **福祉心理学科** Department of Welfare and Psychology

所在地:〒401-0380 山梨県南都賀郡富士河口湖町小立7187
資料請求・お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240 fax.0555-83-5100
e-mail nyuushi@kenkoudai.ac.jp <http://www.kenkoudai.ac.jp/>



山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又はFAXにてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX : 055-241-8660 (代) TEL : 055-241-5811 (代)



編集後記

去年は、立てた目標の一つが未達成でした。自分の意志の弱さが原因です。今年は、達成できるよう頑張ります (米)

今年こそ、健康第一でがんばります。(S)

毎年少しずつ自分の仕事の範囲が広がってきています。大変ですが、自分の学べる範囲が広がるのはとてもうれしいです (つ)

恥ずかしながらインフルエンザにかかりました (立)。皆さんも体調管理に気を付けてください。(内)

梅の木にポツポツ花が... 春が特ちどおしいですネ (河)

今年が降らないかと思っていた雪が降りました。ウキウキはつかの間で朝の通勤を思うとドキドキ。うちの OT 室は梅が満開で春の足音を感じています。

(み)

先日、岐阜の下呂温泉にいき、湯巡りしてきました。日中はどこも貸し切り状態で最高でした。おすすめです。(精)

昨年末、十数年振りに入院しました。いやいや、びっくりしました。職場の皆さんには非常に迷惑を掛けてしまいましたが、平日の昼間に(病室の)ベッド上で本を読むという中々出来ない経験ができました。お勤めはできませんが・・・。(い)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・山本 奈央子・三枝 美和・小澤 有香・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

山梨厚生病院 〒405-0033 山梨県山梨市落合 860 TEL 0553-23-1311 FAX 0553-23-0168

印刷所：エンドレス (株) 〒405-0014 山梨県山梨市上石森 123 TEL 0553-22-4574